

## まえがき

幼児教育において、障害のある幼児などへの指導に当たっては、個々の幼児の障害の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うことが大切です。そのためには、幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の教職員（以下、「先生」という）が保護者、関係機関との連携を図り、長期的な視点で障害のある幼児などへの教育的な支援を行うことが求められています。本資料はその際の基本的な考え方や具体的な事例について解説しています。

各園においては、本資料を手掛かりに日々の実践を工夫され、障害のある幼児などへの指導力の向上や先生方の研修の充実等に取り組まれることを期待しております。ぜひ、本資料を積極的に活用していただき、指導内容・指導方法の一層の向上に役立ててください。

むすびに、ご協力いただいた作成協力者の各位に、ここに深く感謝の意を表する次第です。

令和5年3月

文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

藤岡 謙一

厚生労働省子ども家庭局保育課長

本後 健

内閣府子ども・子育て本部参事官（認定こども園担当）

高木 秀人

# 目次

第1章 幼児教育の基本	1
1. 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育	1
(1) 育みたい資質・能力と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」	1
2. 幼児期の特性と幼児教育	3
(1) 幼児期の特性	3
(2) 幼児期の発達	3
(3) 幼児教育の基本と重視する事項	4
第2章 園における障害のある幼児などへの指導	7
(1) 全ての幼児に生きる力の基礎を培う幼児教育	7
(2) 教育課程と一人一人の発達に応じた指導	8
(3) 幼児の障害の状態等に応じた必要な支援のためのアセスメントの重要性	9
(4) 園における個別の指導計画の考え方	10
(5) 互いの専門性を発揮する専門機関との連携	11
(6) 幼児教育の機能を十分に生かした障害のある幼児などへの指導	11
(7) 社会の入り口としての園	12
第3章 障害のある幼児などへの指導における基本的な考え方	14
1. 障害のある幼児などの遊びや生活を支える合理的配慮	14
(1) 障害のある幼児などの実態に応じた合理的配慮	14
(2) 合理的配慮の内容	15
(3) 園における合理的配慮の提供	17
2. 合理的配慮を含む必要な支援を考えるために必要なアセスメント	19
(1) 障害のある幼児などの実態を把握するためのアセスメント	19

(2)	幼児教育におけるアセスメントの意義・必要性	19
(3)	幼児教育におけるアセスメントの内容や方法	21
(4)	アセスメントを行うに当たっての配慮	22
<b>3.</b>	<b>先生の基本的な姿勢</b>	<b>24</b>
(1)	先生だけではなく、障害のある幼児なども困っている	24
(2)	障害のある幼児などのよさや得意なこと、 好きなことを見つける	25
(3)	先生同士がつながり支え合う	25
(4)	共生社会の担い手を育む	26
<b>4.</b>	<b>障害の有無にかかわらず一人一人のよさを生かすクラス経営</b>	<b>27</b>
(1)	多様な幼児が集団にいることの意味	27
(2)	他の幼児にも配慮した集団としての成長	28
<b>5.</b>	<b>保護者との信頼関係を基盤とした子育ての支援</b>	<b>31</b>
(1)	幼児を中心に据えた保護者との連携	31
(2)	障害のある幼児などの保護者との連携	32

## 第4章 障害に関する基本的な理解と障害のある幼児などの 困難さに応じた支援の手立ての考え方

<b>1.</b>	<b>障害のある幼児などの困難さに応じつつ全体的な発達を促す支援の在り方</b>	<b>35</b>
(1)	入園における配慮	35
(2)	障害のある幼児などの困っている姿を捉える視点	36
(3)	幼児期からの早期支援の意義	40
(4)	幼児期の発達の特性と障害のある幼児などが抱える困難さ	40
(5)	障害のある幼児などが自身の特性への理解を深めながら 自尊感情を育むこと	42
<b>2.</b>	<b>視覚障害に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	<b>43</b>
(1)	視覚障害の概要	43
(2)	視覚障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	43
(3)	視覚障害のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	44

(4)	困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	47
	<b>コラム</b> すごろく遊びを通して（5歳児）	
	～見やすい教材の工夫や聴覚情報等を活用して遊びを楽しむ～	48
<b>3.</b>	<b>聴覚障害に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	<b>51</b>
(1)	聴覚障害の概要	51
(2)	聴覚障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	51
(3)	聴覚障害のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	52
(4)	困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	56
	<b>コラム</b> ケーキ屋さんごっこを通して（4歳児）	
	～言葉に身振り手振りを交えて思いを伝え合う～	56
<b>4.</b>	<b>知的障害に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	<b>59</b>
(1)	知的障害の概要	59
(2)	知的障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	59
(3)	知的障害のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	60
(4)	困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	64
	<b>コラム</b> クマさん鬼ごっこを通して（4歳児）	
	～先生がルールを分かりやすく行動で示す～	65
<b>5.</b>	<b>肢体不自由に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	<b>68</b>
(1)	肢体不自由の概要	68
(2)	肢体不自由のある幼児などに見られる行動等の特徴	68
(3)	肢体不自由のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	69
(4)	困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	72
	<b>コラム</b> 的当て遊びを通して（4歳児）	
	～できることを生かして体を動かす遊びを他の幼児と楽しむ～	73
<b>6.</b>	<b>病弱・身体虚弱に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	<b>76</b>
(1)	病弱・身体虚弱の概要	76
(2)	病弱・身体虚弱のある幼児などに見られる行動等の特徴	76
(3)	病弱・身体虚弱のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	77
(4)	困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	81

	<b>コラム</b>	サッカー遊びを通して（５歳児）	
		～遊びの中に休息时间を取り入れる工夫をする～	81
<b>7.</b>		<b>言語障害に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	84
(1)		言語障害の概要	84
(2)		言語障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	84
(3)		言語障害のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	86
(4)		困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	89
	<b>コラム</b>	クラス全体でしりとり遊びをする場面を通して（５歳児）	
		～楽しい雰囲気の中で幼児のペースで発話し、	
		思いを伝える喜びを味わう～	90
<b>8.</b>		<b>情緒障害に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	93
(1)		情緒障害の概要	93
(2)		情緒障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	93
(3)		情緒障害のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	94
(4)		困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	96
	<b>コラム</b>	未就園児の保育や入園後の保護者の付き添いを通して（４歳児）	
		～保護者から先生、そして他の幼児へ。	
		信頼する人を拠り所に自分の世界を広げていく～	96
<b>9.</b>		<b>自閉症などに関する基本的な理解と支援の手立て</b>	99
(1)		自閉症などの概要	99
(2)		自閉症などのある幼児などに見られる行動等の特徴	99
(3)		自閉症などのある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	102
(4)		困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	107
	<b>コラム</b>	紙芝居ごっこを通して（４歳児）	
		～当該幼児の得意なことを生かして他の幼児との遊びを展開する～	107
<b>10.</b>		<b>学習障害に関する基本的な理解と支援の手立て</b>	110
(1)		学習障害の概要	110
(2)		学習障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	110
(3)		学習障害のある幼児などの抱える困難さに応じた支援の手立て	111
(4)		困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	113

<b>コラム</b> カルタ遊びを通して（5歳児） ～絵やリズムの活用により、楽しみながら言葉も理解しやすくなる～	113
11. 注意欠陥多動性障害に関する基本的な理解と支援の手立て	116
(1) 注意欠陥多動性障害の概要	116
(2) 注意欠陥多動性障害のある幼児などに見られる行動等の特徴	116
(3) 注意欠陥多動性障害のある幼児などの抱える困難さに応じた 支援の手立て	118
(4) 困難さに応じた支援を活用して園での遊びや生活を展開する	122
<b>コラム</b> 集合時や遊びの場面を通して（5歳児） ～当該幼児の思いの実現、きまりを守りやすい工夫など、 状況に応じた支援を行う～	122
<b>コラム</b> 発達障害について	126

## 第5章 教育支援の体制整備 128

1. 体制整備の必要性	128
(1) 園内委員会	129
(2) 関係者や関係機関、保護者との関係づくりをするコーディネーター	131
2. 個別の教育支援計画と個別の指導計画	134
(1) 個別の教育支援計画	134
(2) 個別の指導計画	137
3. 先生の理解推進と専門性の向上	140
4. 専門家を活用した園運営	141
(1) 特別支援教育支援員	141
(2) 巡回相談	143
5. 専門機関との連携	144
(1) 専門機関との連携	144
(2) 地域の専門機関	145
6. 保護者との連携	148
(1) 保護者の気持ちに寄り添う先生の姿勢	148

(2) 保護者との連携における留意点	152
7. 小学校への円滑な接続	155
(1) 小学校との連携の強化	155
(2) 就学先決定等の仕組みに関する基本的な考え方	155
(3) 小学校への引継ぎ	156

## 第6章 園における障害のある幼児などの支援の実際

(実践事例)	159
事例1 日々の先生同士の会話の中で障害のある幼児などが抱える 困難さに気付く	161
事例2 日々の様子を共有していくことで障害のある幼児などの 実態把握につなげていく	166
事例3 障害のある幼児などの困難さから支援を考えるために 園内委員会を活用する	173
事例4 外部有識者の助言を生かして支援の手立てを考える	181
事例5 個別の指導計画の作成を通して、障害のある幼児などの発達に 必要な体験を考える	191
事例6 障害のある幼児などの実態に応じた行事参加について考える	198
事例7 多様な幼児が共に遊びや生活を楽しむことのできる関係をつくる	205
事例8 先生の実践経験を考慮し、活発な協議ができる 園内研修を考える	218
事例9 園が療育機関での助言を生かしながら障害のある幼児などの 育ちを考える	229
<b>コラム</b> 障害のある幼児などが通う療育センターへの訪問を通して 園の先生が感じたこと	236
事例10 家庭、園、関係機関が連携して障害のある幼児などの支援を考える	239
事例11 入園前の相談を活用して受入れ体制や支援を考える	248
事例12 園と小学校が連携して切れ目ない支援を考える	254
事例13 保護者の気持ちに寄り添うことで先生と保護者の協働を深めていく	260

事例 14 障害のある幼児などの保護者が一人で抱え込んだり孤立したりしない  
ような配慮について考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 267

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 277

1 幼稚園教育要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 278  
2 幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に関する内容  
(抜粋)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 295



# 本資料の活用にあたって

## 【本資料の主な対象者】

本資料は、個々の幼児の障害の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫などについて解説したものです。

本資料は主に幼稚園の先生を対象としていますが、幼保連携型認定こども園の保育教諭等においても、特に満3歳以上の障害のある園児などの教育及び保育を充実させていく上で、ご参考にしていただけるものと考えています。また、保育所においても本資料を適宜ご活用いただきたいと思います。

## 【本資料の構成】

第1章では、幼児教育の基本、第2章では、園における障害のある幼児などへの指導、第3章では、障害のある幼児などへの指導における基本的な考え方について述べています。

第4章では、障害に関する基本的な理解と障害のある幼児などの困難さに応じた支援の手立ての考え方について述べています。具体的には、障害のある幼児などの困難さに応じつつ全体的な発達を促す支援の在り方を述べた上で、障害種別に障害の概要や行動等の特徴、支援の手立て、困難さに応じた支援を活用した園での遊びや生活の展開について述べています。

第5章では、教育支援の体制整備について述べています。具体的には、体制整備の必要性、個別の教育支援計画と個別の指導計画、専門機関や保護者との連携、小学校への円滑な接続などについて述べています。

第6章では、障害のある幼児などへの指導の参考となるよう、具体的な事例を紹介しています。なお、紹介している事例は、あくまでも一つの実践事例であることを考慮の上、参考としていただきたいと思います。また、本資料に掲載している事例については、可能な限り原文を尊重して掲載していることから、国の法令等とは異なる表記や統一が図られていない表記も含まれています。

各園等や先生、各自治体において、本資料が積極的に活用され、幼児期の教育の一層の充実が図られるよう期待しています。